

令和7年度 4歳児 「発表会」

(実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字、
取り上げる内容によって変わる箇所を網掛けにて示す。)

1. 期間 1月中旬～3月上旬

2. 設定の理由

昨年度、クラスで1か月近く一つのお話を基にごっこ遊びをする発表会を1回経験してきている。その中で、自分のしたいことを選んだり意識したりしてしようとしたり、できるようになって嬉しいと思ったり、友達と一緒に動いたり歌ったりする喜びを感じたり、なりたい登場人物になって表現する楽しさを感じたりしてきている。また、友達と一緒に遊ぶ中で友達のことを知ったり、自分の気持ちを言葉や行動で伝えたりしてきている。また、発表会を迎える中でおとして、たくさんの人に見てもらったり拍手をしてもらったりして嬉しい気持ちを感じたり、自分に満足したりしている。さらに、4歳児の発表会を見せてもらい、こんなことをしてみたいと憧れの気持ちをもっている子どももいる。

今年度の運動会では、少し難しいことに対してできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさや前より上手になった嬉しさや、役になりきって体を動かす楽しさや、皆で動きを合わせて表現する楽しさ、皆でお話の展開や設定を考えて遊びを作っていく楽しさを感じていた。11月から12月頃には、自分達で気の合う友達を誘い合って遊び始め、したいことを言ったり友達の話を聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいて。その中で、友達の様子を見たり、考えていることを見たり聞いたりして、すごいな、面白いな、などいろいろな友達の個性に気付いたりしていた。また、いろいろなごっこ遊びの中で、なりたいものを思い浮かべてなりきり、その役らしい言葉や話し方、動きをしたり、遊びに必要な物やその役らしくなるために必要な物を作って身に付けたり、友達と相談しながらお話の展開や設定を考えたりすることを楽しんできている。

3学期になると、前とは違う自分や頑張ることができるようになったことに意識を向けることで、前との違いや成長を感じ、自信をもっていく。また、こまを回したい、長く回したい、こまを下敷きに乗せたい、狭い的にこまを投げ入れたい、紐に乗せて持ち上げたい、縄跳びで前とびの回数を増やしたい、ボールを上に向けて連続でキャッチできるようになりたいなどと具体的に目的をもって挑戦し、できるようになると次の目的を決めて挑戦していく姿が見られるようになる。その中で、友達の頑張っている姿やできるようになった姿を見て、すごいと思ったり、うまくいなくて困っている友達に気づき、助けてあげようとしたりする。また、したい遊びによっていつもと違う友達と遊んだり、クラスみんなで遊んだりする中で、友達のよさや今まで知らなかった個性に気付くようになる。

発表会で、子ども達に身近な心情のお話を取り上げてごっこ遊びをすることで、登場人物の気持ちを感じて共感したり、登場人物の気持ちを感じながら、表情や言葉、話し方、動き方などを考えて表現したりすることができる。また、子ども達の考えを中心に、遊びやお話の流れや設定、動きなどを決めて進めていくことで、自分達で遊びやお話を作っている感覚をもったり、みんなで決めたことを一緒にすることを喜んだりする。これまでみんなで楽しんできた遊びを取り入れることで、もっとこうしてみたい、こうしたら楽しくなるということを、それぞれが考えを出し合いながら一緒に決めていくことができる。遊びの必要で物を作ることで、目的や用途を意識し、作るものを具体的に思い浮かべることにつながり、大きさや形、色などを考え、素材の特徴を生かして組合せ、描いたり作ったりすることができる。

そこで発表会では、具体的な目的をもち、それに向けて考えたり試したりしながら取り組み続けていけるように支えていきたい。そして、前とは違う自分を自覚して自信をもったり、さらなる目的をもち、取り組んだりしてほしい。また、お話を取り上げてごっこ遊びをする中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しんでほしい。そして、面白いことを考える、助けてくれて優しいなど友達のいろいろな個性に気付いてほしい。

3. ねらい (考える力が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す)

- ① いろいろな役を**し**になりたいと思ったり、なりたい役や**頑張りたい**したい役割を決めたりして、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたり、遊びに必要な物をどのように作りたいか考えたり役をいろいろと変えてなりきったり決めた役になりきったり役割を果たしたり、ボールやフープ、こま、けん玉などの挑戦したい技ことを決めてできるようになりたいと思って何度も試しながら練習したりするなど、具体的な目的をもって繰り返したり試したりして取り組もうしたり、自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱ったり、作りたいものをこだわって作ったりしようとする
- ② なりたい役になったり遊びに必要な物作りたいものを作ったりして自分の考えたことができたことに満足し思いが実現する喜びを感じたり、できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の上達や成長、頑張りを感じて自信をもったり、やりきった充実感に浸ったりする
- ③ 上手くいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、思い通りにならず投げだしたい思いや悔しさなどを、自らや先生や友達に励まされながら自分の納得のいく方法を見つけて落ち着かせたり、気持ちを立て直してやってみようとしたりしようとする
- ④ 以前はできなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦するとできるようになった自分を感じて嬉しく思ったり、自分の頑張りや成長に気付く。頑張ったことで上達したり上手くいったりしたことを感じたり、自分の今の状態や前との違いを感じたりする
- ⑤ いろいろな友達と体を触れ合わせたり、一緒に動いたり歌ったり、顔息を見合わせたりしながら、クラスの友達みんなと一緒にと遊ぶ楽しさを味わうことを嬉しく思う
- ⑥ 友達がやお話の登場人物に関心を寄せて、言動考えた動きを見たり、友達の言葉を聞いたり、友達の、頑張っている姿、真剣な姿を見たり聞いたりきして、友達やお話の登場人物の個性や考えを知ったり、思い、頑張り、困っていることやつまづいていることなどを感じたり気付いたりする
- ⑦ 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいこと、してほしいことなどの気持ちや、こうすればよいと遊びにおける考えたことを友達に分かるように伝わるまで伝えようとする
- ⑧ 困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教える、一緒に考えるなど、してあげたい友達にとってよいと思うことをしようとする
- ⑨ みんなで遊ぶごっこ遊びやお話に取り入れた遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おもしろいと思ったことを言ったりして、素敵なお話にしたり楽しい遊びにしたりするなど友達と同じ目的に向けて、友達の話を聞いたり、自分の考えを話したり、自分のできることを考えてしたり、どんなものやことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その考えた通りにしようとする
- ⑩ 大勢の友達とで動く時や道具を使ったり出したりする時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり、声をかけたりするなど、危なくないように考えた方法を意識して動こうとする
- ⑪ 体で表現する動きや技をする動きを楽しんだり、ボールや縄、こま、フープ、けん玉などの技に応じた姿勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを感じ、取り組みながらつかんでいたり、それらをする楽しさを感じたりする。身につけようとしたりする

自ら決める・選ぶ

自分に満足する
充実感を得る

気持ちをコントロール
する

自分のことを知る

他者という喜びを感じ
る

他者のことを知る

自分のことを伝える

他者のことを考えて行
動する

人と物事を進める

身を守る

身体を操作する
体の動きや感覚を磨く

- ⑫ ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、紙粘土やハサミ、段ボールカッター、のり、筆、ローラー、作った小道具、大道具、楽器などの素材や道具の特徴や性質を試したり比べたりする中で感じる 事物・現象を捉える
- ⑬ 見ている人に見やすかったり見えなかったりするように考え、道具を隠したり置いたり演者が立ったりする位置や向きを決めたり、変えたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする 場や状況を整える
- ⑭ ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ 造形色や形に表す
- ⑮ リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったり入れた言葉のリズムと曲のリズムを合わせながら歌詞を考えたりする楽しさを感じる 音楽に表す
- ⑯ 絵本を見たり、お話を考えたり、役になって遊んだりする中で、困ったことでも考えてみんなで力を合わせると大きな力になり、乗り越えられる素敵さ、年老いて追い出される悲しみや仲間が増えていく嬉しさ、泥棒に立ち向かっていく緊張感や面白さなど、お話それぞれの場面の素話や絵本の言葉から様々な登場人物の気持ちや素敵なところなどの個性を感じたり考えたり、友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作った思いのままに想像を広げたり、思い付いたことを言葉にしたり、作ったお話や感じた思いを歌詞にしたりする楽しさを感じる 文芸言葉に表す
- ⑰ 友達の表現を思いのままに感じたり、登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる 身体や動きに表す
- ⑱ より役らしくなるように考え、役に応じて小道具を使ったり役や場面に応じて衣装を身に着けたり、よりその場面らしく見えなるように考え、場面に応じて家、本などの大道具や料理や宝箱などの小道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、音を鳴らしたり、曲をかけたり、照明を変えたり、自分達のしたいお話や遊びになるように、設定や展開を考えたり、挨拶や歌などを入れたり、見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりするなど、表現の仕方を考えたりやってみたりする楽しさを感じる 演出に表す・構成する

A 【お話のごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 絵本を見たり、お話を聞いたり、<u>創り出した</u>りする 先生や友達と<u>絵本の話をした</u>り<u>したい場面のお話</u>に出てくる人や物になって遊ぶ<u>ごっこ遊び</u>をしたりする <u>登場人物にな</u>って遊ぶ 小道具や大道具を使って表現する いろいろな友達と体を触れ合わせたり<u>顔を見合</u>わせたり、一緒に動いたり歌ったり<u>息を合わせ</u>たりする 先生や友達に<u>表現</u>を見てもらう 友達が考えた表現を見る したいことや考えたことなどを<u>言う話す</u> 友達のしたいことや考えたことなどを聞く お話の設定や<u>流れ展開</u>を考える 友達との<u>目的</u>に向けて自分のできることを考えてする リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする 作ったお話や感じた思いを歌詞にする お話を思い浮かべながら歌う <u>入れたい言葉のリズムと曲のリズムを合わせ</u>な 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな役を<u>をし</u>になりたいと思ひ、<u>動き方や話し方、言葉、などについて</u>こうしたいと考えてして<u>みよ</u>役をいろいろと変えてなりきろうとする① ○なりたい役になって自分の<u>思いが実現する喜び</u>を感じたり、<u>前とは違う自分やしたいことを続けて</u>きた自分の<u>頑張</u>りを感じて自信をもったり、<u>考えたことができたことに満足</u>したりする② ○<u>上手くいかなくて悔しい、困ったなど</u>と思つた時に、<u>思い通りにならず</u>投げだしたい思いや悔しさなどを、自らや先生や友達に<u>励まされながら自分の納得のいく方法を見</u>付けて<u>落ち着かせたり、気持ちを立て直してや</u>ってみようとしたりしようとする③ ○以前は<u>できなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦すると</u>できるようになった自分を感じて<u>嬉しく思</u>ったり、<u>自分の頑張</u>りや<u>成長に気付</u>く。<u>頑張ったことで上達したり上手くいったりしたことを感じたり、自分の今の状態や前との違いを感じたり</u>する④ ○いろいろな友達と<u>体を触れ合</u>わせたり、一緒に動いたり歌ったり、<u>顔息を見</u>合わせたりし<u>ながら</u>、クラスの友達<u>みんなと一緒</u>にと遊ぶ<u>楽しさを</u>味わうことを嬉しく思う⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ◎いろいろな役を<u>をし</u>になりたいと思えるように、いろいろな役を全員とする状況を作ったり、教師がいろいろな役を楽しむ姿を見せたり、いろいろな役をする<u>楽しさを言葉</u>にしたりする。 ◎<u>動き方、話し方、言葉などをそれぞれが考</u>えられるように、<u>考えてしていることを具体的に褒めて意識させたり、それぞれの考えた表現を褒めたり</u>する。 ◎自分の考えたことを認めてもらえた嬉しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらふ場をもち、友達の見て感じたことを聞く機会を設けたりする。 ◎<u>前と比べて変わった自分、頑張</u>ってできるようになった自分を感じられるの<u>頑張</u>りを感じて自信をもてるように、<u>前と比べてよくなっているところ</u>やこれまでの<u>頑張</u>りを具体的に言葉にして褒め感心する。 ◎<u>しまった、悔しい、困った</u>と思つた時に、<u>気持ちを思い通りにならず</u>投げだしたい思いや悔しさなどを<u>落ち着かせたり立て直</u>すことができたりしようとするように、<u>困っている気持ち思い通りにならず</u>投げだしたい思いや悔しさなどを受け止め、待ったり、周りの友達と一緒に励ましたりする。 ◎<u>自分の成長や頑張りに気付</u>ける<u>頑張</u>ったことで上達したり上手くいったりしたことを感じられるように、前よりも上手になってきていること<u>や繰り返</u>し<u>頑張</u>っている姿を具体的に褒めたり、教師が感じた子どもの様子を言葉にしたりする。や<u>上手くいったこととこれまでの頑張</u>りを結び付けて具体的に言葉にする。 ◎自分の今の状態や前との違いを感じられるように、その都度、客観的に見た今の状態や前との違いを言葉にする。 ◎友達と一緒に遊ぶ<u>楽しさを味わ</u>うことを<u>嬉しく思</u>うように、友達と<u>体を触れ合</u>わせたり、動きや<u>息を合わせる</u>必要があったりする遊びを取り入れる。 ◎いろいろな友達と一緒に遊ぶ<u>ことを楽し</u>むと思えることを<u>嬉しく思</u>うように、友達と一緒に自由に遊ぶ場面や友達を誘い合っつて一緒にする場面を作ったり、一緒にし

から歌詞を考
え

- ・歌や曲に合わせて身体を動かしたり楽器を鳴らしたりする
- ・大道具や小道具など遊びに使う道具を用意配置したり片付けたりする
- ・なりたい役やしたい役割を決めて最後までやりきる

○友達がやお話の登場人物
に関心を寄せて、言動考
えた動きを見たり、友達
の言葉を聞いたり、友達
の頑張っている姿、真剣
な姿を見たり聞いたりき
して、友達やお話の登場
人物の個性や考えを知っ
たり、思い、頑張り、困っ
ていることやつまずいて
いることなどを感じたり
気付いたりする⑥

○友達の気持ちや考えを開
きながら、自分の困った
ことや嫌な気持ち、した
いこと、してほしいこと
などの気持ちや、こうす
ればよいと遊びにおける
考えたことを友達に分か
るように伝わるまで伝え
ようする⑦

○困っている友達に気付
き、友達のために声をか
ける、待つ、励ます、教え
る、一緒に考えるなど、
てあげたい友達にとって
よいと思うことをしよ
うとする⑧

○みんなで遊ぶごっこ遊び
やお話に取り入れた遊び
が楽しくなるように、友
達のしていることを見
たり考えを聞いたり、した
いことや考えたこと、お
かしいと思ったことを言

ている友達の名前を呼んだり、感じている嬉しい気持ちを言葉で伝えたりする。

◎友達の考えを知ったり、友達のよき個性を感じたりできるように、考えたことを見合ったり、工夫している表現や頑張っていることを褒めて紹介して注目させたり、見て感じていることに共感したりする。

◎友達の頑張りや頑張ることができるようになったこと、工夫していることを素敵だと思うように、これまでの頑張りや考えていることを知らせたり聞いたりして注目させたり、何がどうよいか着目するところを知らせたり、頑張ることができるようになったことを見合う場をもったりする。

◎友達が困っていることやつまずいていることを感じられるよう、友達の困っている表情や行動に気付かせたり、何に困っているのか心配して尋ねる姿を見せたりする。

◎感じてほしい登場人物の気持ちを感じ
られるように、日頃から子ども達と共有し大
切にしている心情と結び付ける言葉
をかける。

◎登場人物の気持ちを感じられるように、心
情が強く表れている部分は気持ちを込め
て強調して絵本を読んだり、ごっこ遊びを
する中で、役や状況を思い浮かべながら体
感できる状況を表す言葉をかけたり、子
もと同じ役や相手役になりきって状況に
合った言葉を言ったり、それぞれの場面で
の気持ちを一緒に考えたりする。

◎自分の気持ちや考えたことを友達に伝
わるまで伝えようとするように、友達の考えを聞いてどう思うのか尋ねたり、具体的な言葉に言い換えたり、言葉を足したり、相手に伝わったか一緒に確かめたりする。

◎友達のためにできるに
よいてよいと思うことをしようとするように、困っている友達の姿を知らせたり、困っている友達のためにできるに
よいてよいことを一緒に考えたり、待ってできそうな時は、待ってあげてを提案したりする。

◎それぞれの考えていることが分かるように、実際に動いて見せてもらったり、みんなで動いてみたりする。

◎友達との目的に向けて自分のできることを考えたり、必要だと思うことを一緒にしようと思えるように、声をかけ合ったり、合図を出したりして動いていることのよ

~~ったりして、素敵なお話にしたり楽しい遊びにしたりするなど友達と同じ目的に向けて、友達の話を聞いたり、自分の考えを話したり、自分のできることを考えてしたり、どんなものやことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その考えた通りにしようとする⑨~~

○大勢の友達とでの友達と動く時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり声を掛けたりするなど、考えた方法を意識して動こうとする⑩

○リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったりする楽しさを感じる⑪

~~○みんなで作る歌に入れたい言葉や内容を考え、曲のリズムに合わせてながら歌詞を考える楽しさを感じる⑫~~

○絵本を見たり、お話を考えたり、役になって遊んだりする中で、困ったことでも考えてみんなで力を合わせると大きな力になり、乗り越えられる素敵さ、年若い追いつけられない悲しみや仲間が増

き友達との目的にとっての意味を具体的な言葉にして褒めたりする。

◎したいことや考えたことを言ったり聞いたりしながら一緒に考えられるように、考えるポイントを絞って話し合いをし、友達の考えに対してどう思うのかの思いやその理由を聞いたり、考えが合わない場合は、自分はどうしたいのかを聞いたりする。

◎遊び方を友達と一緒に考えて決めていけるように、これまで楽しんできた遊びを取り入れ、もっとこうしたらいいと思うことや困ったこと、おかしいと思っていることを聞き出したり、それに対してどう思うのかを投げかけたりする。

◎どうすると危ないか、何が危なかったか考えられるように、どんな状況になっていたか知らせたり、危ないと感じたことやどうすると危ないかを尋ねたりして、一緒に考えたり、振り返ったりする。

◎考えた方法を意識して動けるように、方法を事前に確かめたり、意識していることのよき安全にとっての意味を言葉にして褒めたりする。

◎リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたりするように、いろいろなリズムやテンポ、雰囲気の曲を選んだり、テンポを変えて演奏したり、メロディーをはっきりと正確に歌ったり、感じて歌ったり身体を動かしたりする。

◎歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌えるように、歌詞の意味や込められた気持ちを知らせたり、お話の中で子ども達が感じている気持ちや楽しんでいることを聞きながら、歌詞を作ったりする。

~~◎曲のリズムに合わせて言葉を選んだり入れる場所を考えたりしながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、リズムを取りやすい曲を選んだり、みんなで作った物語を振り返って入れたい内容や言葉を探ね、曲のリズムと言葉を合わせながら歌ってみたり、それを聞いてどう思うか尋ねたり、他に合う言葉や場所がないか一緒に考えたりする。~~

~~*感じてほしい登場人物の気持ちを感じられるように、日頃から子ども達と共有し大切にしてくれている心情と結び付ける言葉をかける。~~

*繰り返しお話を見たり読んだりしてお話の面白いところ、好きなところを見付けたり心情や場面、動きを思い描いたりできるように、取り上げるお話の絵本を複数冊置

~~えていく嬉しさ、泥棒に立ち向かっていく緊張感や面白さなど、お話をそれぞれの場面の素話や絵本の言葉から様々な登場人物の気持ちや素敵なところなどの個性を感じたり考えたり、友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作り、思いのままに想像を広げたり、思い付いたことを言葉にしたり、作ったお話を感じた思いを歌詞にしたりする楽しさを感じたりする⑩~~

~~○友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、作ったお話を感じた思いを歌詞にする楽しさを感じたりする~~⑩

○友達の表現を思いのままに感じたり、登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる⑪

く。

~~◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをする中で、役や状況を思い浮かべながら体感できる状況を表す言葉をかけたり、子どもと同じ役や相手役になりきって状況に合った言葉を言ったり、それぞれの場面での気持ちを一緒に考えたりする。~~

◎~~作ったお話を感じた思いを話しながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、どんな話にしたか振り返ったり、どんな言葉、順番だと伝わりやすいか尋ねたり一緒に考えたりする。~~

~~*同じお話を登場人物でも少しずつ異なる内容や設定、展開があることに気づき、自分達でお話を作っていきかけとなるように、同じシリーズの絵本や同じお話を作者が違う絵本、同じ題材の違う絵本などを一緒に置いておく。~~

~~◎場面や設定、展開を創造してお話を作る楽しさを感じられるように、教師が自由に想像して考えた場面や設定、展開を言葉にする姿を見せたり、自由に発想して提案する姿を受け止め、一緒になって発想することを面白がったりする。~~

~~◎作ったお話を感じた思いを話しながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、どんな話にしたか振り返ったり、どんな言葉、順番だと伝わりやすいか尋ねたり一緒に考えたりする。~~

~~*全員でお話作りを積み重ねられるように、出てきた考えや決めたことを文字やイラスト等にかき留め、いつでも見られる所に置いておく。~~

◎~~友達の表現を思いのままに感じられるように、友達の表現を見る機会を設けたり、感じたことを尋ねてそれぞれの感じ方を受け止めたりする。~~

◎~~登場人物の気持ちや場面を思い浮かべられるように、情景や状況を伝えたり、同じ役や相手役になって話しかけ思い浮かべていることを引き出したり、場面に合った音やBGM等の音響をかけたりする。~~

◎~~登場人物の気持ちを感じながら表現できるように、心情の表れている言葉を取り上げて話したり、登場人物の気持ちを一緒に考えたり、同じ役や相手役になって表現して見せたり言葉や動きで状況を作って引き出したりする。~~

◎~~歌や曲から感じたことを身体で表現でき~~

	<p>○より役らしくなるように <u>考え、役にに応じて小道具を使ったり役や場面に応じて衣装を身に着けたり、よりその場面らしく見えなるように考え、場面に応じて家、本などの大道具や料理や宝箱などの小道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、音を鳴らしたり、曲をかけたり、照明を変えたり、自分達の話やお話や遊びになるように、設定や展開を考えたりする楽しさを感じる</u>⑧</p> <p>○なりたい役 <u>やしたい役割</u>を決めて、<u>その役らしい動き方や話し方、言葉などを考えよ</u>決めた役になりきったり役割を果たしたりうとする①</p>	<p>るように、歌のリズムやテンポ、メロディ、曲調、歌詞といった要素を言葉や動き、表情等で知らせて意識化したり、動きの <u>よき</u> <u>敵</u>さをそれらと結び付けて <u>褒め言葉</u>にしたりする。</p> <p>◎役や場面らしくなるように道具の必要を感じられるように、道具の存在が際立ったり場面が変わったりする状況でごっこ遊びをしたり、必要に感じて提案したり、らしく見える <u>よき</u> <u>効果</u>を言葉にして <u>褒め</u>たりする。</p> <p>◎道具を役や場面らしくするために作ったり使ったりする楽しさを感じられるように、作ったり使ったり使っているのを見たりした感想を尋ねたり、教師が感じたよさを言葉にして知らせたりする。</p> <p>◎自分達のしたいお話 <u>や遊び</u>にしようと <u>挨拶や歌などを入れる</u> <u>設定や展開</u>を考える楽しさを感じられるように、始めや終わりといった演出を考えやすいポイントを意識して言葉にしたり、これまでの経験からの <u>設定や展開のアイデア</u> <u>考え</u>を取り上げたり広めたり、<u>考え</u>を提案したりする。</p> <p>◎なりたい役 <u>やしたい役割</u>を決めてしたいことを考えたり取り組んだりするように、一人一人にどの役 <u>や役割</u>がしたいか尋ねたり、こだわって選んだりなりきったり考えたりしている姿を <u>具体的に褒め</u> <u>各自の意欲と結び付けて言葉</u>にしたりする。</p>
--	--	--

B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>遊びに必要なもの材料</u>を考える ・ <u>ごっこ遊びに必要なものをそれに合った素材を選んで</u>描いたり作ったりする 	<p>○ <u>遊びに必要な物をどのよう</u> <u>に作りたいか考え、試しながら</u> <u>作ろうとする</u> <u>作りたいものを</u> <u>こだわって</u> <u>作ろうとする</u>①</p> <p>○ <u>自分が思うような物ができたことに満足する</u> <u>作りたいもの</u> <u>を作って</u> <u>自分の思いが実現する喜び</u> <u>を感じる</u>②</p> <p>○ <u>ごっこ遊びに必要な物を作る中で、道具を使ったり出したりする時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、どうすれば安全に使</u></p>	<p>◎作りたいものを具体的に思い浮かべて作ることができるように、考えていることやどんなことに使うかなどを尋ねる。</p> <p>◎作りたい思いにこだわって作れるように、どんなものが作りたいのかを尋ねたり、作っている過程でも目的を振り返ったり、目的に向かっている姿を具体的に言葉にして <u>褒め</u>たりする。</p> <p>◎思うようなものができた <u>ことに喜び</u> <u>を感じられるように</u>、工夫したところを聞いたり、<u>教師が素敵だと思ふところを具体的に伝えて褒め</u> <u>こだわりをもって</u> <u>作り</u> <u>きった姿を言葉</u>にしたりする。</p> <p>◎ <u>使い方によっては危ない道具であること</u> <u>を知り、安全に</u> <u>使うために</u> <u>どのように使</u> <u>い方をおうか</u> <u>考えて</u> <u>してみようとする</u> <u>使</u> <u>うように</u>、安全に使った方がよい道具の特徴を言葉にしたり、自分で扱い方を考えて <u>使う姿を安全と結び付けて言葉</u>にし</p>

	<p>えるのか考えてしてみよ うとする危なくないよう に考えた方法を意識して 使おうとする^⑩</p> <p>○ ごっこ遊びに使ったり、 必要なものを作ったりす る中で、紙粘土やハサミ、 段ボールカッター、のり、 筆、ローラー、作った小道 具や大道具、楽器などの <u>素材や道具の特徴や性質</u> <u>を試したり比べたりする</u> <u>中で感じる</u>^⑫</p> <p>○ ごっこ遊びに必要な物や 登場人物、好きな場面、強 く感じた思い等を思い浮 かべて、それに合わせて <u>大きさや形、色などを考</u> <u>えて、素材を選んだり、形</u> <u>を変えたり、素材の特徴</u> <u>を生かして組み合わせ方</u> <u>を考えたりしながら、描</u> <u>いたり作ったりすること</u> を楽しむ^⑭</p>	<p>たり、なしていることを褒めたりし、今 が危なくないか尋ねたりする 考える機会 を設ける。</p> <p>◎ 段ボールカッターを前後に動かすと切れ やすいことローラーで塗った時と筆で塗 った時の色や模様の違いがあることな ど、<u>素材や道具の特徴や性質</u>を感じられ るように、使用中で感じていることを尋 ねたり、<u>比べたり試したりすることを提</u> <u>案したり</u>、教師も一緒になって<u>素材や道</u> <u>具の性質や特徴</u>に驚いたり面白がったり する。</p> <p>* 思い浮かべた物を自ら考え選択しながら 作れるように、どんな形、大きさ、色、質 感の物が必要なか聞きながら、それが かなう複数の材料を用意する。</p> <p>◎ 大きさや形、色、組み合わせ方を考えなが ら作れるように、工夫している<u>ところを</u> <u>褒め面白さを言葉にしたり</u>、他の友達の 工夫を見せて刺激を与えたりする。</p> <p>◎ 好きな場面や強く感じた思いを思い浮か べて描いたり作ったりできるように、描 いたり作ったりする前にお話や遊びを振 り返ったり、絵や作品から実際にお話し や遊びの中で出てきたり感じていたりし た思いと結び付けて言葉にしたりする。</p>
--	--	--

C【自分で決めたことに向けて挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ボールや<u>フーズ</u>、こま、<u>けん玉</u>、縄などに挑戦する 具体的な<u>目的</u>を決めて<u>繰り返し何度も試しながら</u>挑戦する 先生や友達に<u>したいことに向けて頑張る姿</u>を見てもらう 友達がしたいことに向けて<u>頑張る姿</u>を見たり聞いたりする <u>できるようになったり上達したりする</u> <u>新たな目標を</u> 	<p>○ ボールやフーズ、こま、けん玉などの挑戦したい技 ことを決めてできるように になりたいと思っ ても試しながら、繰り返 したり試したりして取り組 もうとする^①</p> <p>○ <u>技をする動きを楽しんだり</u>、ボールや縄、こま、<u>フーズ、けん玉</u>などの<u>技に</u> <u>応じた姿勢や力の加減、</u> <u>体の動かし方、道具の動</u> <u>きに合わせた動きのコツ</u> <u>を感じ、取り組みながら</u> <u>つかんでいったり、それ</u> <u>らをする楽しさを感じたり</u> <u>する。身につけよう</u> <u>したりする</u>^⑩</p> <p>○ できなかったことや難し</p>	<p>* 具体的な目的をもち、挑戦したいことを決 めて意識し続けられるように、何をどんな 風にしたいのかを聞き、文字やイラストで かき記し、いつでも見られる場所に掲示し ておく。</p> <p>◎ 始めにしたいと思っ ても、さらに次の挑戦したいことを決められ るように、できて嬉しい気持ちを認めなが ら次の目標を聞いたり、少し難しいことを 提案したりする。</p> <p>◎ こまを投げたりボールや<u>フーズ</u>縄を使っ たり、<u>けん玉</u>をする時など、遊具や技に合 わせたの姿勢や持ち方、身体の使い方、動 かし方、力加減を感じたり、考えたり、試 したりできるように、一緒にしたり、やっ てみせたり、できる友達の姿勢や動きを見 せたり、コツを具体的な言葉にして知らせ たりする。</p> <p>◎ 前の自分と比べてできるようになってい</p>

<p>もって挑戦する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする 	<p>いと思っていたことができようになつてきた、上手になつたなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の上達や成長、頑張りを感じて自信をもったりする②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 以前はできなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦するとできるようになった自分を感じて嬉しく思ったり、自分の頑張りと成長に気付く。頑張ったことで上達したり上手くいったりしたことを感じたり、自分の今の状態や前との違いを感じたりする④ ○ 友達がしたいことに向けて挑戦している姿を見たり聞いたりして、友達の頑張りとよき個性、思いの強さを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったりする⑥ ○ 困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教える、一緒に考えるなど、七であげたい友達にとってよいと思うことをしようとする⑧ 	<p>る、上手になっていると思えるように、それぞれがどこまでどんな風できているのかを把握しておき、前よりどんなところができるようになったのか具体的に言葉にして褒めする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ できるようになつた自分に上達や成長、頑張りを感じて自信をもてるように、上手になつたりできるようになつたりしたことをみんなに紹介したり、披露する機会を設けたり頑張ってきたことと結び付けて感心したり思いの強さの表れだと伝えたりする。 ◎ 自分の頑張りと成長に気付ける頑張ったことで上達したり上手くいったりしたことを感じられるように、教師が見取った頑張りと諦めずに挑戦している姿が上達や成功につながったことを言葉にもたりする。 ◎ 自分の今の状態や前との違いを感じられるように、教師が客観的に見取った今の状態や前の状態を続けて言葉にする。 ◎ 友達の頑張りとよき、今まで知らなかった個性、思いの強さを感じられるように、友達が挑戦している姿をみんなで見られる機会を設けたり、これまでの頑張りとかけてきた思いを具体的に言葉にして知らせたりする。 ◎ 友達のためにできるとしてよいと思うことを考えられるように、困っている友達がいることを知らせ置かれている状況を知らせたり尋ねたり、どうしたらいいのすると友達がどうなるか一緒に考える機会を設けたり、待つてできそうな時は、待つてあげることを提案したりする。
--	---	---

D【発表会でお家の人や他学年に見てもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会の日やお家の人が見に来てくれること、お家の人が見る場所を聞く ・ 見てもらう人を意識して表現の仕方を考える ・ 見てほしいと 	<ul style="list-style-type: none"> ○ お家の人や他学年の友達、先生に見てもらうことに期待をもつ① ○ 見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにし 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 発表会でお家の人や他学年の友達、先生に見てもらうことを楽しみにできるように、参観等をきっかけに、お家の人にお話を見てもらいたいという思いを共有したり、お家の人にいつ見てもらうかやどこで見てもらうかを知らせたり、先生や他学年の友達が来てくれることを知らせたりする。 ◎ 見ている人に分かってもらえるように表現することを意識して表現の仕方を考えたり考えたことをやってみたりする楽しさを感じられるように、大きな声やはっき

<p>ころや頑張りたいことを<u>言</u> <u>う話す</u></p> <p>・発表会でお家の人に見てもら</p>	<p><u>たりするなど、表現の仕</u> <u>方を考えたりやってみ</u> <u>たりする楽しさを感じる</u>⑩</p> <p>○<u>見ている人に見やすか</u> <u>たり見えなかつたりす</u> <u>るよう</u><u>に考え、道具を隠</u> <u>したり置いたり</u><u>演者が立</u> <u>たりする位置や向きを決</u> <u>めたり、変えたり、必要</u> <u>道具を</u><u>考えで</u>運んだり使 わない時は収めたりし ようとする⑬</p> <p>○楽しんでいたり頑張 っていること、できるよ うになったことをお家の 人に見てもらったり拍手 や感想をもらったり褒め てもらったりして嬉しい と思ったり、<u>頑張った自</u> <u>分に満足しやりきった充</u> <u>実感に浸</u>ったりする②</p> <p>○お家の人に自分の頑張り を褒めてもらったり認め てもらったりして伝えても らって、自分の頑張りを感じたり、成長した自分に 気付いたりする。④</p>	<p>りとした表現、体の向き等を受けて表現し たいことがよく伝わったことを知らせたり、 友達がしているごっこ遊びを見たり見 てもらったりしてどう思ったか伝え合う 機会を作ったり、言ってもらったことを意識 して変えている姿を言葉にしたりする。</p> <p>◎見やすさを意識して道具の置き方や立ち 位置等を考えられるように、客席から見て 感じたことを伝えたり、客席から見る機会 を設けたり、見てどう思うか尋ねたり、撮 影した動画や静止画を見せたりする。</p> <p>◎お家の人に見てほしいところや頑張っ ていることを意識できるように、見てほしい ところや頑張りたいことを<u>聞き尋ね</u>たり、 頑張っているところを褒め言葉にして知 らせたりする。</p> <p>◎<u>頑張った自分に満足できやりきった充実</u> <u>感に浸れる</u>ように、<u>全力でできたか尋ね</u>た り、これまでの頑張りと今日の頑張りをつ 結び付けながら、<u>頑張っていたこと、自信を</u> <u>もってやりきっていたことを褒め言葉</u> <u>にして感心</u>したりする。</p> <p>◎お家の人に見てもらったり褒め頑 張りを伝えてもらったりして嬉しいと思え自 分の頑張りを感じられるように、お家の人が 拍手してくれていたこと笑顔で見てくれ ていたことを伝えたり、お家の人に笑顔や 拍手で励ましたり、<u>具体的に褒めたりして</u> <u>もらえる頑張り</u>を伝えたりするよう伝え ておいたりする。</p> <p>◎<u>自分の頑張りを感じたり、成長した自分に</u> <u>気付いたり</u>するよう、お家の人に子 どもの前とは異なる姿や<u>頑張っ</u> <u>てい感心</u>した姿を具体的に褒め言葉にたり 伝えたりする<u>ことをよう伝える</u>ておく。</p>
---	--	---